

始良・伊佐地域感染症情報

2021年 第44週報 (11月1日～11月7日)

【発行】始良・伊佐地域振興局保健福祉環境部
 【発行日】令和3年11月9日
 【お問合せ先】鹿児島県始良保健所
 TEL (0995) 44-7956 / FAX (0995) 44-7969

- 管内の手足口病報告数は警報発生基準を超えて以降、終息基準値を下回っていません。始良・大口保健所管内ともに引き続き警報発令中です。第43週報では、警報発令中の標記がされていなかったことをお詫び申し上げます。
- コロナ人権相談窓口が設置されることになりました(R3.10.29～R4.3末)。新型コロナウイルス感染症に伴う不当な差別や偏見、いじめ等でお悩みの方はご相談ください。TEL099-203-0544/FAX099-204-9400
- 『新型コロナウイルス感染症(COVID-19)診療の手引き・第6.0版』が更新されました(R3.11.2厚生労働省)
- 『保育所における感染症ガイドライン(2018年度改訂)』が更新されています(R3.8厚生労働省)
- 新型コロナウイルス感染症の流行は落ち着いてきていますが、インフルエンザ流行期を前に、引き続き注意が必要です。「ワクチンを接種したから大丈夫!」と、油断することなく感染対策に努めましょう。

定点把握疾患の報告数

	疾病	警報基準値		注意報基準値	始良保健所管内推移					大口保健所管内推移				
		(開始)	(終息)		41週	42週	43週	44週	先週からの増減	41週	42週	43週	44週	先週からの増減
内科・小児科定点	インフルエンザ	30.0	10.0	10.0	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.00	0.00	0.00	0.00	→
小児科定点	RSウイルス	—	—	—	6.29	4.57	2.43	1.29	↘	2.00	0.00	1.00	0.00	↘
	咽頭結膜熱	3.0	1.0	—	0.14	0.00	0.14	0.14	→	0.00	0.00	0.00	0.00	→
	A群レンサ	8.0	4.0	—	0.29	0.00	0.14	0.43	↗	1.00	0.00	1.00	1.00	→
	感染性胃腸炎	20.0	12.0	—	3.57	3.43	5.14	3.29	↘	0.00	3.00	0.00	2.00	↗
	水痘	2.0	1.0	1.0	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.00	0.00	0.00	0.00	→
	手足口病	5.0	2.0	—	3.86	2.14	3.14	4.57	↗	8.00	2.00	4.00	2.00	↘
	伝染性紅斑	2.0	1.0	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.00	0.00	0.00	0.00	→
	突発性発しん	—	—	—	0.43	0.57	0.86	0.00	↘	0.00	0.00	0.00	0.00	→
	ヘルパンギーナ	6.0	2.0	—	0.14	0.57	0.14	0.14	→	0.00	0.00	0.00	0.00	→
	流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0	0.00	0.00	0.14	0.00	↘	0.00	0.00	0.00	0.00	→
眼科定点	出血性結膜炎	1.0	0.1	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→					
	流行性角結膜炎	8.0	4.0	—	0.00	0.00	2.00	0.00	↘					
基幹定点	細菌性髄膜炎				0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.00	0.00	0.00	0.00	→
	無菌性髄膜炎				0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.00	0.00	0.00	0.00	→
	マイコプラズマ肺炎				0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.00	0.00	0.00	0.00	→
	クラミジア肺炎				0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.00	0.00	0.00	0.00	→
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)				0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.00	0.00	0.00	0.00	→
インフルエンザ入院患者(人)					0	0	0	0	→	0	0	0	0	→

■ …警報基準値以上 ■ …警報基準値以上

全数把握疾患の報告数

	始良保健所管内	大口保健所管内
一類感染症	届出なし	届出なし
二類感染症	結核1件	結核1件(43W発生)
三類感染症	届出なし	届出なし
四類感染症	届出なし	届出なし
五類感染症	アメイバ赤痢1件	届出なし

新型コロナウイルス感染者数(人)

	始良保健所管内	大口保健所管内
今週	発生なし	発生なし

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。特に飲食などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事と比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の間でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることがある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。

